

春野菜の生産(生育)・出荷状況について

(全国農業協同組合連合会)

1. 平成26年産春キャベツ(4月～6月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年3月現在

	当初計画(25年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量						
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通じた出荷見通し
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農千葉 県本部	1,060	100%	37,950	107%	36,000	102%	・春系: 10/中～10/下 ・初夏: 1/上～3/上	・春系: 11/下～12/ 中 ・初夏: 2/中～4/上	春系: 3/下～5/下 初夏: 5/下～6/下	・春系: 春系305が3月後半から減少 してきて、後続の春作に切り 替わる。春作のピークは4/下 ～5/上。 ・初夏: ピークは5/下～6/上。	作付面積は横ばいで、前年・ 直近3ヶ年をやや上回る見込 み。
全農神奈川 県本部	740	100%	36,740	105%	35,180	100%	・春系: 10/中～	・春系: 11/中～2/下	・春系: 3/下～6/下	・出荷開始時期: 3/下(平年並み) ・出荷最盛期: 4/下～5/上(平年並み)	前年・直近3ヶ年平均並みの 出荷を見込む。4月のウェー トが高まる。
愛知県経済 連	600	100%	32,002	103%	27,780	101%	・冬系: 8/下 ・春系: 9/下～10/末 ・初夏: 10/下～1/上	・冬系: 9/下 ・春系: 10/下～12/上 ・初夏: 11/下～2/下	・冬系: 3月～4月 ・春系: 3/下～4/下 ・初夏: 5/上～6/下	・冬系・春系: 出荷開始時期、出荷最盛期 は、平年並みの見込み。 ・初夏: 出荷開始時期は平年並み だが4月の天候次第。	・冬系・春系: 冬系の残量があり、4月は例 年よりやや多めを見込む。 ・初夏:作付は平年並み。平 年よりやや多めを見込む。
その他	1,900	100%	42,366	115%							
対象県 共販計	4,300	100%	149,058	108%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉 : 前年比100% ・全農神奈川: 前年比100% ・愛知経済連: 前年比101%。「初夏どり」は、冬キャベツからの連作・他品目からの移行により微増。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉 : 「春系」は概ね順調だが、2月前半の突風により揺さぶられたことで、一部の圃場で遅れる可能性あり。 「初夏どり」は概ね順調だが2月前半の強風で定植直後のもので、若干被害が発生し植え直しをしている。 ・全農神奈川: 「春系」は年明け以降、低温が続いたが適度な降雨もあり、生育は概ね順調。しかし過湿気味で病害が懸念される。 ・愛知経済連: 「春系」は2月下旬に全国的な大雪で気温が下がったが、それ以降は気温も上がり、適度な降雨があり生育は順調。大玉傾向。 「初夏どり」は作付微増。現時点では生育順調。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	26年見通し ^{注1}	4,000	16,500	15,500	36,000
	前年比	115%	89%	116%	102%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	94%	101%	102%	101%
全農神奈川県本部	26年見通し ^{注1}	18,264	15,101	1,815	35,180
	前年比	103%	97%	98%	100%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	119%	90%	68%	101%
愛知経済連	26年見通し ^{注1}	16,600	7,360	3,820	27,780
	前年比	100%	103%	101%	101%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	98%	115%	97%	102%
計 (上記3団体)	26年見通し ^{注1}	38,864	38,961	21,135	98,960
	前年比	103%	95%	111%	101%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	107%	98%	97%	101%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成23年～25年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・4月:神奈川県産が前進出荷した影響で過去3ヶ年を上回る出荷数量であった。 ・5～6月:5月は千葉県産が前進出荷した影響で過去3ヶ年を上回る出荷数量であった。6月は4・5月に前進出荷されたため少なかった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4月:愛知、神奈川県産のシェアが高くなる時期。神奈川は3月の気温上昇により、前進出荷となり前年・直近3ヶ年平均を上回る見込み。 ・5～6月:千葉、神奈川産のシェアが高くなる時期。神奈川は4月に前進出荷した分、減る見込み。前年・直近3ヶ年平均を下回る見込み。

2. 平成26年産春だいこん(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年3月現在

	当初計画(25年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					播種時期	定植時期
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農千葉 県本部	750	103%	34,000	112%	28,500	94%	・春系: 11/上～3/上	—	・春系: 3月～5月	・出荷開始時期: 3/上(平年並み)。 ・出荷最盛期: 3/下～5/中(平年並み)。	前年・直近3ヶ年を下回る見込み。ピーク時期は平年並みの見込み。
全農長崎 県本部	136	100%	11,050	85%	10,610	82%	11/上～3/中	—	3月～5月	・出荷開始時期:3/上から。平年よりやや早めの出荷。 ・出荷最盛期:4/上～4/中。	・全体の作付面積は前年並みとなっており、出荷量は前年比82%、直近3ヶ年平均比88%を見込む。 ・前進出荷の影響で4～6月は少ない。
その他	537	101%	23,917	104%							
対象県 共販計	1,423	102%	68,967	104%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉:前年比100% ・全農長崎:前年比101%
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉:2月の降雪・強風の影響により下位等級の発生比率増が懸念される。出荷数量は前年・直近3ヶ年をやや下回る見込み。 ・全農長崎:秋冬作の収穫が順調に進んだこともあり、後作である春大根の播種も順調に進んだ。生育は前進傾向。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	26年見通し ^{注1}	15,000	11,000	2,500	28,500
	前年比	88%	95%	133%	94%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	96%	94%	98%	95%
全農長崎県本部	26年見通し ^{注1}	5,810	4,700	100	10,610
	前年比	84%	84%	21%	82%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	98%	90%	11%	88%
計 (上記2団体)	26年見通し ^{注1}	20,810	15,700	2,600	39,110
	前年比	87%	92%	110%	90%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	96%	92%	76%	93%

注1: 3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2: 平成23年～25年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	4・5月: 直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5月: 千葉県の出荷量は、降雨等で播種が順調にできなかったことから前年・直近3ヶ年より少ない。 ・6月 : 青森県産のシェアが高くなる時期。平年より雪は少ない。播種は3/中～下を予定しているが、4/上にずれ込む可能性あり。出荷は5/下から始まり、ピークは6/中～7/下までの見込み。

3. 平成26年産たまねぎ(4月～10月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年3月現在

	当初計画(25年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量		播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通じた出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比					
ホクレン	3,707	100%	180,170	116%	127,650	108%	・極早生: 2月 ・早生: 2月 ・中生・晩生: 2月	・極早生: 4/中～5/中 ・早生: 4/中～5/中 ・中生・晩生: 4/中～5/中	・極早生: 8月 ・早生: 8/下～11月 ・中生・晩生: 11～4月	現在、作業初期のため見通し 立たず。平年作を見込む。そ の場合、ピークは10月となる。	4～7月は直近3ヶ年平均を下 回る見込み。8～9月は前年・ 直近3ヶ年より多い。
JAさが	2,101	97%	88,700	112%	84,808	111%	・極早生: 9/中 ・早生(マルチ・露 地): 9/下 ・中晩生: 9/下	・極早生: 10/下～11/上 ・早生(マルチ・露 地): 11/上～11/中 ・中晩生: 11/中～12/下	・極早生: 3/中～4/中 ・早生(マルチ・露 地): 4/中～5/上 ・中晩生: 5/中～9/下	・出荷開始時期:3/中。 ・出荷最盛期:4月～5月(平年 並み)	5月は極早生品種の面積が増 加し、早生種の発芽率が低く なったことが影響し微減。7～ 9月は中晩生種面積が増加し たため出荷数量が増える見込 み。
全農兵庫 県本部	1,661	100%	38,255	121%	40,200	118%	・極早生: 8/下～9/上 ・早生: 9/下 ・中生: 9/下 ・晩生: 9/下	・極早生: 10/中～10/下 ・早生: 11/上～11/下 ・中生: 11/中～12/下 ・晩生: 11/中～12/下	・極早生: 3/下～4/上 ・早生: 5/上～5/下 ・中生: 6/上～7/下 ・晩生: 8/上～3/上	・出荷開始時期:極早生が3/ 下から出荷される。 ・出荷最盛期:7月～8月。	中晩生品種は12月下旬の定 植時の雨の影響で年明けに ずれ込んだ生産者がいる。4 ～5月は前年・直近3ヶ年より も少なく、6～8月は前年・直近 3ヶ年よりも多い見込み。
その他	2,013	100%	80,782	109%							
対象県 共販計	9,482	99%	387,907	114%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<p>ホクレン:前年比100%(早生・中生種の作付比率がやや増加する見通し)</p> <p>・JAさが:前年比95%(早生は減少、中晩生はやや増加傾向)</p> <p>・全農兵庫:前年比101%(年内定植分が雨天の影響で、年明けにずれ込んでいる)</p>
生育状況	<p>・ホクレン :2月より播種作業開始し、現在育苗中。</p> <p>・JAさが:定植時期の降雨、低温によりやや遅れての生育となっていたが、現在は生育回復してきている。</p> <p>・全農兵庫:極早生・早生は順調である。中晩生種は定植が遅れているものの生育は回復してきている。</p>

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
ホクレン	26年見通し ^{注1}	13,500	750	100	0	16,220	44,650	52,430	127,650
	前年比	69%	70%	19%	0%	116%	116%	116%	108%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	58%	27%	16%	0%	106%	104%	100%	93%
JAさが	26年見通し ^{注1}	21,544	22,614	12,435	15,103	10,912	2,200	0	84,808
	前年比	126%	97%	77%	137%	140%	209%	#DIV/0!	111%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	167%	95%	90%	132%	118%	188%	0%	117%
JA全農兵庫	26年見通し ^{注1}	200	6,000	7,000	12,000	12,000	2,500	500	40,200
	前年比	67%	95%	186%	107%	123%	128%	59%	118%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	92%	98%	127%	105%	121%	110%	60%	111%
計 (上記3団体)	26年見通し ^{注1}	35,244	29,364	19,535	27,103	39,132	49,350	52,930	252,658
	前年比	95%	96%	96%	122%	124%	119%	115%	110%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	97%	90%	98%	118%	114%	106%	100%	103%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成23年～25年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	4～10月の出荷量合計では、直近3ヶ年で最も少ない出荷数量だった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 :北海道および佐賀県のシェア高い時期。前年・直近3ヶ年を下回る。特に北海道の出荷数量が少ない。 ・5～7月 :佐賀県、兵庫県のシェアが高い時期。5～6月は直近3ヶ年を下回る。7月は佐賀の中晩生種が増加し直近3ヶ年を上回る。 ・8～10月:北海道のシェアが高い時期。現時点では主産3団体計で直近3ヶ年平均を上回る見込む。

4. 平成26年産春夏にんじん(4月～7月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年3月現在

	当初計画(25年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					播種時期	定植時期
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農徳島 県本部	995	103%	39,865	102%	38,502	101%	・トンネル: 10/中～1/中	—	・トンネル: 3/上～6/下	時期については、以下の通り 平年並の見込み。 ・出荷開始時期:3/上。 ・出荷最盛期:4/上～下。	全体の作付面積は前年並。 順調な出荷を見込んでおり、 出荷量は前年比101%、直近 3ヶ年平均比104%を見込む。
全農千葉 県本部	520	104%	15,400	117%	13,600	104%	・春夏: 12/上～3/中	—	・春夏: 5月～7月上 旬	・出荷開始時期: 4/下(平年並み)。 ・出荷最盛期: 5/下～6/下(降雪の影響で 遅れ気味)。	期間を通した出荷見込みは、 概ね前年・直近3ヶ年平均より やや増える見込み。
その他	970	99%	31,725	107%							
対象県 共販計	2,485	102%	86,990	106%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農徳島:前年比100%(高齢化により生産者は減少傾向にあるが、一方で規模拡大を図る生産者もみられる。) ・全農千葉:前年比103%(千葉・東葛地区は前年並み。印旛・山武地区が平成26年2月に指定産地となり面積は増加傾向)
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農徳島:11月に集中的に播種が行われた。年内から年明けにかけて厳しい冷え込みにより生育停滞していたが、その後は晴天に恵まれ1週間程度早まっている。 ・全農千葉:年内から2月5日播種までは順調。2月7・14日の降雪の影響で播種作業は10日間程度遅れている。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	計
全農徳島県本部	26年見通し ^{注1}	24,005	13,780	717	0	38,502
	前年比	112%	84%	145%	0%	101%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	127%	80%	69%	0%	104%
全農千葉県本部	26年見通し ^{注1}	300	2,800	7,800	2,700	13,600
	前年比	105%	86%	109%	110%	104%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	78%	97%	101%	112%	102%
計 (上記2団体)	26年見通し ^{注1}	24,305	16,580	8,517	2,700	52,102
	前年比	112%	84%	111%	110%	101%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	126%	82%	97%	112%	103%

注1: 3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2: 平成23年～25年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・4月: 徳島県産の前進化傾向により、直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。 ・5月: 直近3ヶ年並みの出荷量となった。 ・6月: 千葉県産の前進化傾向により、直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5月: 徳島のシェア高い時期。4月は直近3ヶ年平均を上回る見込み。5月は直近3ヶ年を下回る見込み。 ・6月 : 千葉のシェア高い時期。直近3ヶ年平均をやや下回る見込み。 ・7月 : 青森産のシェアが高くなる。3月上旬時点、平年より雪は少ない。平年並みに7月より本格出荷となる見込み。 現時点では、ほぼ前年並みの作付けを見込んでいる。

5. 平成26年産春はくさい(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年3月現在

	当初計画(25年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城	175	100%	14,700	101%	16,176	112%	・極早生、早生: 11/中～1/中 ・中生: 1/上～2/下 ・晩生: 2/上～3/中	・極早生、早生: 12/下～2/下 ・中生: 2/上～3/下 ・晩生: 3/上～4/中	・極早生、早生: 3/中～4/中 ・中生: 4/中～5/下 ・晩生: 5/下～6/中	・出荷開始時期:3/下(平年より約1週間遅い)。 ・出荷最盛期:5/上～中となる見込み。	前年・直近3ヶ年平均より多めを見込む。 4月～定植遅れで少なめ。 5・6月～遅れた分が出荷されるため多い見込み。
全農長野	218	100%	15,540	103%	16,655	115%	2/中～4/中	3/下～5/上	5/下～6/下	・出荷開始時期:5/下から ・出荷最盛期:6月から	雪害の影響で遅れが出ている。しかし高冷地は前進化で増加傾向。前年比115%、直近3ヶ年平均比113%を見込む。
その他	55	100%	3,570	101%							
対象県共販計	448	100%	33,810	102%							

コメント

作付面積 (3月調査)	・全農茨城:前年比100%。現段階では平年並みを見込んでいるが、雪の影響で遅れたため、やや減となる可能性もある。 ・全農長野:前年比102%。微増の見込み。
生育状況	・全農茨城:2月の降雪までは順調に進んでいたが、その後、降雪の影響で遅れが見られる。 ・全農長野:2月の降雪の影響で多少の遅れが予想される。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農茨城県本部	26年見通し ^{注1}	5,615	7,773	2,788	16,176
	前年比	97%	110%	167%	112%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	96%	105%	130%	105%
全農長野県本部	26年見通し ^{注1}	0	655	16,000	16,655
	前年比	0%	93%	116%	115%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	0%	89%	114%	113%
計 (上記2団体)	26年見通し ^{注1}	5,615	8,428	18,788	32,831
	前年比	97%	109%	122%	113%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	96%	104%	116%	109%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成23年～25年の実績より算出。

コメント(上記3団体下回る見込み。)

昨年の特徴	・4～6月累計:直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。
出荷見通し	・4～5月:茨城のシェア高い時期。4月は、降雪の影響で生育遅れが見られるため、前年・直近3ヶ年平均を下回る見込み。5月は前年・直近3ヶ年を上回る見込み。 ・6月:長野のシェアが高い時期。今後の天候によるが、遅れた分が出荷されるので、前年・直近3ヶ年を上回る見込み。

6. 平成26年産春レタス(4月～5月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成26年3月現在

	当初計画(25年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城県本部	640	100%	15,250	140%	11,400	104%	・3月どり: 10/下～11/上 ・4月どり: 11/中～12/下 ・5月どり: 1/上～2/中	・3月どり: 11/下～12/下 ・4月どり: 1/上～2/上 ・5月どり: 2/中～3/下	・3月どり: 3/上～3/下 ・4月どり: 4/上～4/下 ・5月どり: 5/上～5/下	・出荷開始時期: 平年並みに2/上からとなった。 ・出荷最盛期: 平年並に3/下～4/上旬となる。	定植時期に低温で推移したものの、その後適度な降雨があったことや、気温も高くなってきたことで平年並みの出荷を見込む。
全農長野県本部	401	103%	11,368	101%	9,100	100%	1/中～3/下	2/下～4/中	5/上～5/下	・雪害の影響で定植が遅れ、5月上旬より出荷となる。 ・5月中旬から増え始めて、出荷最盛期は5月20日前後を見込む。	定植時期が遅れたため、6月にずれ込む。4～5月の出荷量は前年比100%、直近3ヶ年平均比92%を見込む。
全農兵庫県本部	434	100%	9,611	110%	8,600	100%	・トンネル: 12～1月 ・露地: 1～2月	・トンネル: 1～3月 ・露地: 3～4月	・トンネル: 4～5月 ・露地: 5月	・出荷開始時期: 平年並みに4/上からの見込み。 ・出荷最盛期: 平年並に4月となる見込み。	全体の作付面積は前年並みとなっており、出荷量は前年比100%、直近3ヶ年平均よりやや下回る見込み。
その他	602	102%	9,123	113%							
対象県共販計	2,077	101%	45,352	116%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農茨城: 前年比101%。結球・非結球は産地により作付の増減があるものの全体で微増。 ・全農長野: 前年比98%。 ・全農兵庫: 前年比100%。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農茨城: 年内～1月までの定植は順調に進んだが、2月の降雪影響で定植が1～2週間停滞し、現状では生育遅れが散見される。 ・全農長野: 3月中旬から一斉に定植作業が始まる。生育については4月の天候がポイントとなる。 ・全農兵庫: 昨年10月から今年2月までの出荷数量は累計で前年比103%。生育進度は前年並み。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	計
全農茨城県本部	26年見通し ^{注1}	8,000	3,400	11,400
	前年比	107%	99%	104%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	100%	93%	98%
全農長野県本部	26年見通し ^{注1}	0	9,100	9,100
	前年比	0%	102%	100%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	0%	94%	92%
全農兵庫県本部	26年見通し ^{注1}	5,100	3,500	8,600
	前年比	99%	101%	100%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	95%	99%	97%
計 (上記3団体)	26年見通し ^{注1}	13,100	16,000	29,100
	前年比	102%	101%	102%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	97%	95%	96%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成23年～25年の実績より算出。

コメント(上記3団体)

昨年の特徴	4月、5月:主産3団体計では、直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。
出荷見通し	・4月:茨城のシェアが高い時期。前年は上回り、直近3ヶ年平均並みを見込む。 ・5月:長野のシェアが高い時期。今後の天候によるが、前年は上回り、直近3ヶ年平均を下回る見込み。